

す。また、新体制にとって幸運なことに、NPO 法人アーダコーダ理事でもある前代表・堀越に渉外役に就任してもらいました。常に変化の中にある市民による哲学カフェの界隈にあって、大局的な見地から助言をいただけるものと思います。

さろんのこれまで；

第1回のさろん哲学を開催した2010年9月、月に一度の哲学カフェだけが会の取組みのすべてでした。それがどんな風に変化してきたのか。この一端について、昨年実績でご紹介します。2017年は通常プログラムとして、さろん哲学（哲学カフェ）11回、朝さろん（読書会）12回、スナック夜さろん1回、さろん・序（哲学本講読＋対話）1回、ゆるカフェ11回、自由勉強会（ゆるカフェ枠）1回、あるばか学校（アートルク！）1回、が実施されました。それから特別企画として、「記念例会」、「クリパ」、「さろん仙台ツアー（1泊2日）」、「哲学プラクティス連絡会／ブース出展」が各1回ありました。これらレギュラーとスペシャルを合算した実施プログラム総数全42回。これを企画・運営するためのスタッフMTGが毎月1回で計12回。告知広報としてメールニュースの発行が25回。総計79回。およそ4.6日に1回のペースで、なんらかのさろんのアクションが実行されている計算になります。

スタッフ各人の純粋な「楽しみ」、興味・関心のもとで実施されている以上、数の多寡はさして問題になろうとは思えません。一方で、参加者（や読者）ありきの実践であることを考慮すれば、安全性、満足度、可変性、コストや頻度、まなびの達成度……といった観点から検証する余地もあるようにもおもいます。8年に渡るこうしたプラクティスの積み重ねによって醸成されている「さろん」というプレゼンスやコミュニティ性が、穏健かつ持続可能なものであるために、できるだけのこととしておきたいと思えます。

順調にいけば本年12月にさろん哲学は第100回の大台を迎えます。回を重ねるということは場を設けるということです。場を設けるということは人をつなぐことです。人は人とつながることで、自分ひとりでは学べない多様なまなびに出会うことができます。それが悦びであり、楽しみになり、次の一回に向けての活力となってきたのがさろんの原点です。これからも原点を忘れない一貫性のある姿勢を大事にしていきたいと思えます。

これからのさろん；

2013年に代々木のオリンピックセンターで「さろん3周年文化祭」を開催しました。“Playful Learning Commons”というテーマのもと、2日間に渡って朝から晩まで、全13本のプログラムと4本の展示を行いました。これまた順調に行けば、2020年にさろんは10周年を迎えます。この一里塚に向かって、今までにない（でもさろんらしい）仕方で、さろんのこれまでの歩みを発展的に検討する機会を持ちたいと考えています。そのためにも、8年のあいだで日常化・卑近化している「哲学カフェ（哲学対話）」を幾たびも問い直す姿勢は不可欠です。哲学プラクティショナーらしく、何度でも前提に立ち返り、異化し、協働実践者のあいだでオープンに対話していきます。この取組みを通して自分自身の見識を見つめ直す。こういう謙虚なまなびの態度はこれからますます欠かせないでしょう。換言すればこういう実践的な態度こそ、哲学カフェのアルファでありオメガに近いものなのかもしれません。

いま、アクティブ・ラーニングや知識のライフサイクル、生涯学習やライフ・シフトという考え方が持て囃されています。さろんのスタッフひとりひとりにとっても、2020年までをひとつの“ギ

ヤップ・イヤー（※人生の「寄り道」。あるいは「すき間」の日々を使って旅をするくらいの意味）”あるいは“リ・カレント”のステージと捉えながら、グッド・プラクティスを積み重ねていければと思います。そうして次のディケイドに向けて確かな根をおろしていきたいと願っています。みなさんと一緒にその木陰に集えるような一本の樹の根を。

こうした活動継続のために諸経費の発生は避けられません。サーバー代やドメイン代のランニングコスト、会名義での口座や入出金の管理、事業計画や予算等の事務的書類の作成とクラウド管理、ローカル環境下での個人情報管理などの事務作業は表には出にくいですが、安心安全のためには必要不可欠なものです。参加者のみなさんから少しずつ頂戴している運営費は、こうした屋台骨の維持のために大切に運用させて頂いています。次期ではこれまでよりも見えるカタチでみなさんに還元できるよう、イベント毎に弾力的な予算執行を行ったり、より催事内容に適した開催会場（環境）を柔軟に選択できるようにしたり、さろんオリジナルグッズの提供などもらみながら、スタッフみんなで試行錯誤しているところです。

おわりに；

そうは言っても、スタッフが卒業したり休会したりもしている現状では、言うは易く行うは難しいものがあります。哲学カフェがブームだった頃ならともかく、これだけ一般化した現状で、市民が実施している数多の哲学カフェのワンオブゼムである本会がリピーターと新規参加者を安定して迎え続けるために一層のプレゼンスを発揮し続けていかなければなりません。“さろんらしき”という魅力を。

2010年の発足から今年までの8年、円卓を囲むメンバーのひとりとしてさろんスタッフの末席に加わり、堀越前代表、野田元代表、志村・大村の両元副代表のもとで会務を目の当たりにしてきました。この間、歴代の代表が決して易くはない責務と重圧の下で献身的なハードワークをこなしている姿を身近で拝見してきました。わが身を振り返り、同様の会務をこなせるかどうか不安でもありますが、幸いにしてスタッフ在籍キャリアだけは負けていません。精鋭揃いの現スタッフと、いつも刺激的な参加者のみなさんのサポートを全面的に得ながら、また他の団体や識者とも積極的に交わりながら、本会・さろんの発展に微力ながら寄与すべく職責を果たしていきたいと考えています。とりま、肩肘張らずに、メッチャ楽しみながら。

代表の芹沢と言います。何卒よろしくお願い申し上げます。

『むずかしいことをやさしく、やさしいことふかく、ふかいことをゆかいに、ゆかいなことをまじめに』(井上ひさし)

2018年4月1日
芹沢幸雄

本年4月1日よりさろんの副代表に就任致しました、楠本と申します。

さろんに偶然足を運ぶようになる前、私は「対話」について考えを巡らしたことは殆どありません

でした。

家族との会話、友人達との他愛ない会話。それらの中にも対話の要素はあったのかもしれませんが、相手の意見を尊重することよりも、言いたい事を言って盛り上がる事を重視するような会話が殆どだったと記憶しています。

だからこそ初めて参加したさろんの例会での2時間が私にはとてもキラキラ輝いて見えました。こんな風に節度を保ちながら、それでいて考えたこと・感じたことを自由闊達に言い合える場が存在するのかと、ただただ驚きました。

芹沢新代表や例会司会を担当する堀越・野田の両名に比べればむしろ表に出てくる機会は多くないかもしれませんが、哲学カフェという場で自分にできることを考え・実践を試みることを怠らず、皆様と共にさろんを盛り上げていければこれに勝る喜びはありません。宜しくお願い致します。

2018年4月1日

楠本 航

異動のご報告

- | ・代表あいさつ
- | ・副代表あいさつ

INDEX

- | 【1】 予約受付中：4/21 さろん哲学 第92回 テーマ：「自動運転」
- | 【2】 予約受付中：4/8 朝さろん 〈79〉『眠れる美女』 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：5/13 〃 〈80〉『存在の耐えられない軽さ』 / 〈リクエスト特集〉
- | 【3】 予約受付中：4/14 さろん・序 #03 「愛するということ(再)」
- | 【4】 開催の報告：3/17 さろん哲学 第91回 テーマ：「絶滅危惧種にどう対応すべきか？」
- | 【お知らせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪
- | 【5】 関連イベント情報
- | 編集後記

CONTENTS

【1】 さろん哲学

第92回 テーマ：「自動運転」

第92回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2018年4月21日（土）15:00-17:00

テーマ：「自動運転」

進 行：野田

会 場：Under the mat カフェ 中目黒 <http://www.underthemat.jp/#information>

参加費：参加費 300 円+ワンドリンク 500 円

定 員：16名

▽司会から：

自動運転の自動車の走行試験が国内でも実施され始め、20年頃には発売される計画があります。
近い将来身近になる自動運転の自動車について考えます。

ご予約・ご質問はこちら⇒ salontetsugaku@gmail.com

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。ご不要の方はさろんのHP <http://salon-public.com/> の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

—— 【2】朝さろん/夜さろん ——

朝さろん 〈79〉『眠れる美女』川端康成/〈リクエスト特集〉

〃 〈80〉『存在の耐えられない軽さ』ミラン・クンデラ/〈リクエスト特集〉

先月朝さろん『侍女の物語』には8名の方にご参加いただき、世界観の細部の解釈や、侍女にとっての「物語」と、結部の研究者にとっての「歴史」との違いについて話し合いました。

今月からは参加者の推薦による〈リクエスト特集〉の開幕です。みなさんに御推薦の本を寄せていただき、毎月1冊ずつみんなで読みます。気になる本のある方、ぜひお気軽に御推薦をお願いします。

これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 79th morning

『眠れる美女』 川端康成／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年4月8日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内)

本 :『(リクエスト受付中)』

定 員：8名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：セリザワ

内 容：

・取り上げる本は参加者からのリクエストで決定します。いつもとひと味違う読書会をお楽しみください♪

・あらすじ『波の音高い海辺の宿は、すでに男ではなくなった老人たちのための逸楽の館であった。真紅のビロードのカーテンをめぐらせた一室に、前後不覚に眠らされた裸形の若い女—その傍らで一夜を過す老人の眼は、みずみずしい娘の肉体を透して、訪れつつある死の相を凝視している。熟れすぎた果実の腐臭に似た芳香を放つデカダンス文学の名作。』

◆朝さろん 80th morning

『存在の耐えられない軽さ』 ミラン・クンデラ／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年5月13日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 :『存在の耐えられない軽さ』 ミラン・クンデラ(集英社文庫)

定 員：8名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：松村

内 容：

・推薦者・松村さんからの紹介コメント「学生時代に会って以来、折にふれては読み返すお気に入りの小説です。男女の群像劇としても十分楽しめますが、随所に散りばめられた『哲学的問い』によって、ついあれこれと思考を巡らせたくなる、そんなところも魅力のひとつだと思います。この小説を介してみなさんとお話できるのを楽しみにしています。」

・あらすじ『苦悩する恋人たち。不思議な三角関係。男は、ひとりの男に特別な感情を抱いた。鮮烈でエロチック…。プラハの悲劇的政治状況下での男と女のかぎりない愛と転落を、美しく描きだす哲学的恋愛小説。』

◆朝さろん 81st morning

『影との戦い／ゲド戦記〈1〉』 アーシュラ・K. ル＝グウィン／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年6月17日(日)9:05-12:00 *都合により開催週を変更しています

◆朝さろん 82nd morning

『夜と霧』 ヴィクトール・E・フランクル／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年7月8日(日)9:05-12:00

ご予約受付中です；

salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

過去の開催内容を HP に掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜 AM に開催 (場合によって開催週変更の場合あり)

《夜さろん》不定期開催

【3】さろん・序

さろん・序 #03 「愛するということ(再)」

アンコールの声に応え、再び開催します。この機会に名著を読んでみては如何でしょう。

課題書籍を読んで、疑問に思う箇所等から問い出しを行ない、哲学対話をします。

日 時：2018年4月14日(土) 15:00～17:30

テーマ：エーリヒ・フロム著「愛するということ」(第2章と第4章を中心に)

担 当：堀越

場 所：都内のカフェ (お申込み頂いた方にご連絡します)

参加費：飲食費実費+100 円/人

定 員：5～6名程度

お申込み・お問い合わせはこちらまで；

salontetsugaku@gmail.com (担当：堀越)

<http://salon-public.com/>

【4】さろん哲学

第91回 テーマ：「絶滅危惧種にどう対応すべきか？」

前回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2018年3月17日(土) 15:00-17:00

テーマ：「絶滅危惧種にどう対応すべきか？」

進 行：堀越

会 場：銀座ルノアール新宿3丁目ビッグスビル店6号室

参加者：15名

進行から：

総勢 15 名(今回初参加者：なし)で、主に、絶滅危惧種の種類によって保護をしたり、何もしていなかったりする現状を認識し合い、その対応が人間中心主義的か、恣意的か、どう対応すべきなのかを対話し、考えた。

御感想などありましたらお寄せください； salontetsugaku@gmail.com

近日中に HP に議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

【おしらせ】

さろんラボ 企画を募集中です♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。

「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の 2 つのイベントがうまれました。

■001 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

■002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えてお気軽に下記までご連絡下さい。みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ : 001

〔あたまの中を散歩するてつがくカフェ〕 第3 2回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際には会場のご確認をお願いいたします。

次回日程が未定のため、決まり次第ウェブサイトとツイッターにてご案内します

運営・進行 : くらち

定員 : 6~8名程度

参加費 : 無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、

もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください (Gmail が受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト : <http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター : https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問 : sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ : 002

〔哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル〕 第1 6回

テーマ : 『生まれる』 (仮)

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP : <http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : cafe.ante.table@gmail.com

(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい! 対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽4/8 第19回 東京メタ哲学カフェ

『どうしたら「よく〈聴く〉、よく〈話す〉」がより充実するだろう？ ～哲学カフェでの対話とナラティブ～』

キックオフトーク：芹沢幸雄（さろん）

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽4/14 「脳科学の倫理を考える対話セッション：

脳科学技術が変えるリハビリ～2040年、いかに老いるべきか？」

日本医療研究開発機構 脳科学研究戦略推進プログラム（生命倫理）

市民対話企画 Vol. 1

日時：2018年4月14日（土）13:00-17:00

会場：東京大学本郷キャンパス医学部3号館1階 N101

定員：40名（参加無料・要登録）

http://cbel.jp/?page_id=1475

▽4/21（土）12:30～ホップズ『リヴァイアサン』読書会（前半）

「ソクラテスと亀」共催イベント

12:30 - 14:30 会場：双子のライオン堂書店

<http://ptix.at/ZyDMNu>

第1回 4/21（土）12:30～ 『リヴァイアサン』前半

第2回 5/26（土）12:30～ 『リヴァイアサン』後半

第3回 6/23（土）12:30～ 『統治二論』

第4回 7/28（土）12:30～ 『社会契約論』

第5回 9/29（土）12:30～ 『法の精神』

▽4/22 慶應sdm ウェルビーイングリサーチラボ

「幸福学・夫婦編」第1講（全6回）

慶應義塾大学 日吉キャンパス

<https://www.facebook.com/events/945359945647265/>

▽E テレ「世界の哲学者に人生相談」

4月5日（木）放送スタート

毎週木曜 午後11時

<http://www4.nhk.or.jp/tetsugaku-soudan/>

▽『ソクラテック・ダイアログ 対話の哲学に向けて』（シリーズ臨床哲学 4),大阪大学出版会

<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>

▽読書猿（『問題解決大全』）×原田まりる（『まいにち哲学』）対談

<https://www.bunkanews.jp/news/news.php?id=18117>

▽「観光経験の現象学」エリック・コーヘン

5つのモード〈レクリエーション、気晴らし、経験、体験、実存〉

<https://ci.nii.ac.jp/els/contents110000474986.pdf?id=ART0000859721>

▽『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦（ちくまプリマー新書）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>

▽『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」』p4c みやぎ・出版企画委員会,東京書籍

<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>

▽『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店

<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽ねりまの哲学対話 “ねりテツ”

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife/blank-12>

▽竹林茶話会 哲学 Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽はなこ哲学カフェいどばたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公-差-転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihphilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽『作家、学者、哲学者は世界を旅する』ミシェル・セール

<https://www.amazon.co.jp/dp/480100198X/>

▽『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』デイヴィッド・イーグルマン

<https://www.amazon.co.jp/dp/415050475X/>

▽『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』青山拓央

<https://www.amazon.co.jp/dp/4778315359/>

▽『中動態の世界 意志と責任の考古学』國分功一郎

<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=87748>

▽『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研 [編著]

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽マインドフルネス瞑想

ティク・ナット・ハン『愛する』

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1325/>

▽ヨコハマ読書倶楽部

<https://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本の場所 (表参道)

著者自身による小説の朗読会

<http://www.honnobasyo.com/>

編集後記

メールニュース第 112 号をお届けします。

ホロッホーウ。ミミズクです。

2018 年度が始まります。今年は桜が早く開花して、先週は気温が一気にあがりましたね。

みなさんもこの週末はお花見など楽しまれたのではないのでしょうか。

この春からさろんが新体制になりました。

新体制になったからといって何か之急にかわるわけではないのですが、みなさんにはぜひ温かい応援をいただけたらさいわいです。みなさんの手で育てていただければと思います。

今月ひさびさ開催のさろん・序ですが、すでに大人気です。参加される方はぜひご堪能ください。朝さろんはリクエストシーズンがスタート。選書はもちろんですが、推薦者によるお題や司会進行もぜひお楽しみに。

今月のさろん哲学は、先日ニュースでも話題になった「自動運転」がテーマです。みなさんの「自動運転」へのご関心はどんなところにありますでしょうか。ぜひゆっくりと話し合ってみましょう。いずれもご予約承り中です。

それではまた次号でお会いしましょう。ホウ。

編集: (ミミズク)

さろん | Mail News 2018/4/1

⇒次号 (4 月 15 日発行予定)

さろん Mail News 第 112 号 / 2018 年 4 月 1 日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

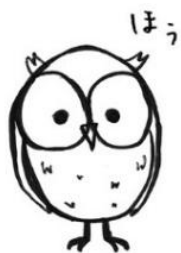
<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーは HP からご覧いただけます。

- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>
 - 「あるばか学校」 blog <http://alpacagakkou.blog.fc2.com/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
